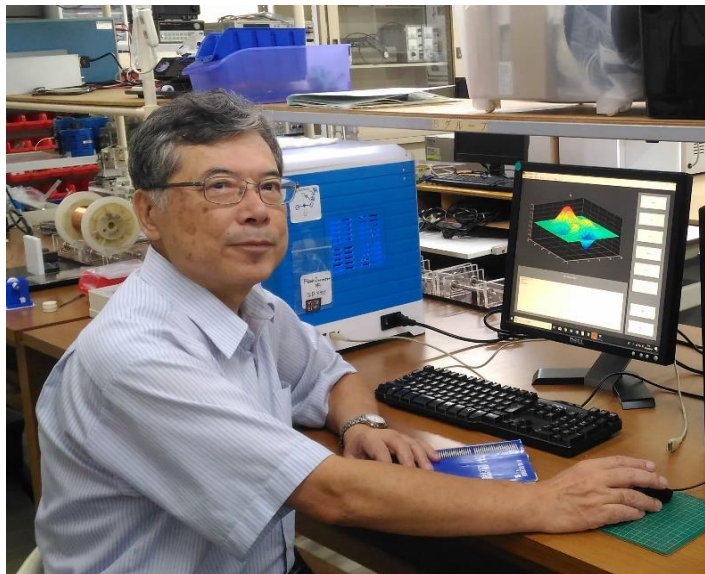


講座名	公立小松大学 学長・副学長特別講座
講師紹介	公立小松大学 学長 山本 博  専門は医学。所属学会：日本糖尿病学会、日本糖尿病合併症学会、日本血管医学生物学会、日本医史学会など。 趣味：文学、音楽、美術など。  
講師紹介	教育担当副学長 横川 善正  出版著書；『ホスピスが美術館になる日』（ミネルヴァ書房）、『誰も知らないイタリアの小さなホスピス』（岩波書店）、『スコットランド、石と水の国』（岩波書店）、『ティールームの誕生』（平凡社）など、 趣味；農業、尺八、絵画制作、「八田光徳寺」のお世話  

研究担当副学長・大学院サステイナブルシステム科学研究科長 木村 繁男

専門の研究は伝熱工学で、主に流体の移動を伴う対流熱伝達に関する幅広い現象を研究。教育では、工業熱力学、流体力学、伝熱工学などの講義を担当。これまでに地熱利用や大気の運動についての研究などを行ってきた。

講師紹介



<p>講座内容</p>	<p>第一回（横川）                  アートの裾野が広がっています。高齢社会、共生社会、AIの時代にふさわしい、新しいタイプの「アート」が求められています。美術館だけでなく、医療、農業、スポーツ、宗教の分野でうまれている、「ケアの時代のアーティスト」を紹介します。</p> <p>第二回（山本）                  糖尿病を巡る半生の旅路をふり返りたいと思います。</p> <p>第三回（木村）                  機械工学科などの工学系へ入学した新入生に対して行ってきた講義を基にして内容を組み立ててみました。情報科学の発展や(株)コマツの創業者竹内明太郎についても時間が許せばお話ししたいと考えている。</p>
<p>こんな方におすすめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 糖尿病をすでにもつ方、ご家族に糖尿病の人がいる方、糖尿病にならないか心配な方、糖尿病に関心がある方。</li> <li>・ 人々が人間の生命と生活にかかわる質（QOL）の問題と向き合ったとき、これと密接する福祉や医療のあり方のみならず、文化・芸術が担う社会的役割が問われています。自分の人生という「作品」の仕上げについて考えている方。</li> <li>・ 歴史的な視点を持って、現代の科学技術の発展を考えてみたいと思われる方。</li> </ul>
<p>その他</p>	